

年間指導計画

クラス： もも（0歳）

| | | | |
|----|-----|----|-----|
| 園長 | 副園長 | 主幹 | 担当者 |
| | | | |

| | | | | | |
|------|--|---|--|--|----------------|
| 年間目標 | 一人一人の生活リズムを大切にし、生理的欲求を満たし、安心感の中で過ごす。 ●優しく語り掛けたり触れ合ったりを大切に、信頼関係を築いていく。 ●身の回りに対する興味や好奇心を育て、個人差に留意しながら離乳の完成や歩行、発語への意欲を育む。 | | | | 一年間の保育に対する自己評価 |
| 年間区分 | 1期(4月～5月) | 2期(6月～8月) | 3期(9月～12月) | 4期(1月～3月) | |
| ねらい | ●一人一人の生活リズムを大切に、無理なく新しい環境に慣れるようにする。 ●保育教諭等にあやされたり、言葉を掛けられることで保育教諭等との信頼関係を築く。 | 一人一人の体調を把握し、快適に過ごせるよう、夏の保健衛生に留意しながら、沐浴や水遊びを行う。 ●保育教諭等に欲求を受け止めてもらい、かかわってもらおう中で安心感を持つ。 | ●保育教諭等や他児とのかかわりを喜んだり、関心が持てるよう安心できる雰囲気をつくる。 ●季候や体調に気を付け、戸外遊びや散歩に出かけ自然に触れる。 | 安定した環境の中で、探索活動を通して、いろいろな人やものに触れながら好きな遊びを楽しむ。 ●友達と少しずつかかわり、自分でしようとする気持ちを保育教諭等に受け止めてもらい、言葉や動作で表現する。 | |
| 行事 | 入園・進級式、身体計測、避難訓練、誕生会、保育参観、健康診断 | 身体計測、避難訓練、誕生会、夏祭り、七夕のつどい | 身体計測、避難訓練、誕生会、表現会、餅つき、歯科検診、健康診断 | 身体計測、避難訓練、誕生会、節分、ひな祭り | |

| 月 齢 | 5 7日～3か月未満 | 3か月～6か月未満 | 6か月～9か月未満 | 9か月～1歳未満 | 1歳～1歳3か月未満 | 1歳3か月～2歳未満 |
|-------------------|--|--|--|--|--|---|
| 園児の姿 | ●短い眠りを繰り返し、少しずつ目覚めている時間が長くなる。 ●空腹時やおむつが汚れたときに泣いて不快を知らせ、満たされると泣き止む。 ●あやされるとほほ笑んだり、喃語を発したりする。 ●目の前のものを追視したり、音のするほうを見たりする。 | ●睡眠と目覚めがはっきりとしてくる。 ●首がすわり、腹ばいになると頭を持ち上げる。 ●手に触れたものを握ったり、口に運んで確かめたりする。 ●手足の動きが活発になり寝返りをする。 ●腹ばいで方向転換や後ずさりをする。 ●寝返りができるようになる。 | ●離乳食を食べ始める（初期食）。 ●舌と上あごを使いもぐもぐし、飲み込むことができる（中期食）。 ●いろいろな味や舌触りに慣れる。 ●睡眠が午前午後の2回になる。 ●手で玩具を持ち替える。 ●人見知りが始まり、後追いをする。 ●お座りをしたり、腹ばいで前に進むようになる。 | ●食べることに意欲的になり、スプーンを持ちながら、手づかみで食べる。舌が前後、左右に動き、歯茎ですりつぶして食べることができるようになる（後期食）。 ●コップから飲めるようになる。 ●だいたい午後1回の睡眠になる。 ●指差しが始まり、思いを伝えようとする。 ●はいはいからお座り、つかまり立ち、つたい歩きをする。 | ●歯茎、乳歯を使って食べ物を噛んで食べる（幼児食）。 ●いろいろなものが食べられるようになる。 ●トイレに座ることに慣れる。 ●睡眠時間が一定になる。 ●つまむ、たたく、引っ張るなど手や指を使って遊ぶ。 ●つたい歩きから一人歩きができるようになり、行動範囲が広がる。 | ●こぼしながらもスプーン・フォークを使って一人で食べる。 ●トイレに慣れ、タイミングが合えば排泄できることが増える。 ●簡単な衣服の着脱を自分でやろうとすることが増える。 ●他の子どもに関心を示し、持っているものを欲しがったり触ったりする。 ●感情の表出が豊かになり、自分の欲求を通そうとする。 |
| ■養護 ★教育 | ■一人一人の生活リズムに合わせ、安心して過ごせるようにする。 ■不快を感じる状態を常に確認し、衛生面に配慮する。 ★音の出る玩具や柔らかい素材の玩具に興味を持ち触れようとする。 ★語り掛ける大人を注視する。 | ■腹ばいなどで移動するようになるので、危険のないよう見守る。 ■口にものを運ぶので、飲み込みや衛生面に十分注意する。 ★周りの環境に興味を持ち、手を出して自らかかわろうとする。 ★体を動かしたり、動かしてもらったりすることを喜ぶ。 | ■一人一人の発達の状態に合わせ、離乳食の開始時期や内容を検討する。 ■睡眠のリズムの変化に対応して、活動時間や活動内容を調整する。 ★手に触れたものをつかんだり、落としたりして遊ぶことを楽しむ。 ★身近な保育教諭等に親しみを強く持つと同時に、少しずつ他の大人にも関心を持つ。 | ■一人一人に合わせ、スプーンや手づかみで食べることを経験できるようにする。 ■動きが活発になると危険も増すことを想定し、ものの配置に配慮する。 ★興味を持ったものを指差し、言葉と一致させようとする。 ★歌や音楽に興味を持ち、リズムに合わせて体を動かして楽しむ。 | ■食後、口の中を清潔に保つため、個々に合わせて口の中を布でぬぐったり、歯磨きをしたりする。 ★排泄の際、自らトイレに座ろうとする。 ★指先を使った細かな動きができる玩具で遊ぶことを喜ぶ。 | ■スプーン・フォークを使う際、危険な使い方をしないよう指導する。 ■衣服の着脱を自分でしようとする意欲を十分に受け止め、必要に応じて援助する。 ★他者を意識し、かかわろうとする意欲が出てくる。 |
| ■環境構成 ★援助・配慮 | 一人一人の生活リズムに応じて、ゆったりとした温かい雰囲気の中で生活できるようにする。 ■音の出る玩具や柔らかい素材の玩具など、成長発達に見合った清潔なものを用意する。 ★授乳やおむつ交換は優しく言葉を掛けながら、心地よさを感じられるようにする。 ★一人一人安心して眠れる静かな環境をつくり、睡眠中の顔色や呼吸をチェック | 一人一人の発達や健康状態を把握し、安定した心地よい生活ができるようにする。 ■玩具などは常に点検、洗浄、消毒をして清潔を保つ。 ★赤ちゃん体操や触れ合い遊びなどを通して、信頼関係を築くとともに言葉と体の発達を促す。 | お座りや腹ばいになるなど活動の範囲が広がるに伴い、安全で活動しやすい環境を整える。 ★発達に合った運動遊びができるような言葉掛けをしたり、玩具の位置を工夫し、楽しく遊べるようにする。 ★甘えや不安をその都度受け止め、情緒の安定を図る。 ★離乳食は家庭と連絡を取り合い、無理なく進める。 | 興味や発達に合わせて、子どもの好奇心や探索活動が満たされるように環境を整える。 ★自分で食べようとする意欲を大切に、様々な味や食感に、慣れていけるようにする。 ★子どもの伝えようとする表情や指差し、気持ちを大切に受け止め、共感したり、分かりやすい言葉で語り掛けていく。 | 歩くことが楽しくなり行動範囲が広がるので、安全面に十分注意し、伸び伸びと遊べるようにする。 ★排尿間隔を把握し、無理なくトイレに誘って慣れるようにする。 ★スプーンの使い方や食習慣が身に付くように援助し、自分で食べようとする気持ちを大切にする。 ★一人一人の思いを受け止め、自己主張ができるようにする。 ★絵本の読み聞かせや歌を通して、発語 | 一人一人の遊びや、自分でしたいという欲求が十分に満たされるよう環境を整え、喜びが味わえるようにする。 ★トイレでの排泄に成功したときは十分にほめ、喜びが味わえるようにする。 ★友達とかかわって遊びを楽しめるよう保育教諭等が仲立ちとなり、一緒に遊んだり見守ったりして、子ども同士のかかわりが持てるようにする。 |
| 子ども・子育ての支援（保護者支援） | 信頼関係を築き、同じ思いで育てていくように、園での様子、家庭での様子を密に伝え合う。 | 連絡帳や登降園時の会話の中で子どもの様子、情報を共有し、子どもの成長を共に喜ぶ。 | 感染症にかかりやすくなるため、健康状態について連絡を密に取り合う | 歩かせることを急がず、はいはいの大切さを知らせる。 ●離乳食の味付けが濃くなっていないかなど、進み具合を伝え合う。 | 体をたくさん使って遊べるようになったとはいえ、バランスはまだ不安定な時期なので、事故のないように配慮することを伝える。 | 一日の生活リズムと自分でしようとする気持ちの芽生えの大切さを知らせ、安定して生活や遊びができるよう連絡を取り合う。 |